

写真

価値語

伝えたい価値



さあ ぼく/私たちの時代だ

新(あら)たなリーダーとして、これから大宮小学校(おおみやしょうがっこう)を引っ張って(ひっぱって)いく。決意(けつい)を新たに、今(いま)こそ、踏み出す(ふみだす)とき。これからは、ぼくたち、私たちの時代だ!!



食（い）べることは 生（い）きること

私（わたし）たちは、食（た）べものの命（いのち）をいただいて生きている。食べることは、生きることなのだ。

食べものに、作（つく）っていただいた方に、感謝（かんしゃ）の気（き）もちをもって食べよう。米粒（こめつぶ）1つまで残（のこ）さず食べよう。



気づいたらやる 言われる前にやる

いろいろな活動(かつどう)の中(なか)には、地域(ちいき)の方(かた)にお世話(せわ)になって学(まな)ぶことも多(おお)い。そんなとき、地域の方(かた)にすべておまかせするのではなく、自分(じぶん)たちで考(かんが)えて行動(こうどう)することが大切(たいせつ)。
気づいたらやってみよう。言われる前にやってみよう。



力と魂を込めて

自分(じぶん)たちの教室(きょうしつ)は、自分たちできれいにする。また、「黒板(こくばん)をきれいにする」ということは、「次(つぎ)の時間(じかん)の学習(がくしゅう)に向(む)かう心(こころ)の準備(じゅんび)をすること」にもつながる。この“当(あ)たり前(まえ)”を、“あたり前以上(いじょう)”にしていこう。それが、凡事一流(ぼんじいちりゅう)。



「任せる」勇氣

下級生（かきゅうせい）に任せるって難（むずか）しいし、不安（ふあん）にもなる。「代（か）わりにやっであげようかな」って思（おも）うこともある。でも、任せていかないと、その子（こ）に力（ちから）はついていかない。教（おし）えたいことは伝（つた）わっていかない。だからこそ、「任せる」勇氣をもとう。そして、任せたからには最後（さいご）まできちんと見守（みまも）ろう。



優しさはつながる

上級生（じょうきゅうせい）が下級生（かきゅうせい）にしてあげることの多（おお）くは、数年前（すうねんまえ）に自分（じぶん）たちもしてもらっていたこと。その優しい思い出（おもいで）が今（いま）、自分の行動（こうどう）につながっているにちがいない。
優しさはつながる。時（とき）をこえて。



地域に暮らす 地域に学ぶ

私(わたし)たちは、ここ大宮(おおみや)の地域で暮らし、地域の方々(かたがた)からたくさんのお話を教(おそ)わっている。

でも、私たちが知(し)らない大宮の素敵(すてき)なところは、まだまだたくさんあるはず。どんどん見(み)つけよう。そして、もっともっとこの地域を好(す)きになろう。



堂々と立つ 堂々と話す

教室(きょうしつ)などの慣(な)れた場所(ばしょ)だけではなく、「たくさんの人(ひと)の前(まえ)」や、「公(おおやけ)の場(ば)」でも、堂々と立ち、堂々と話せる力(ちから)を付(つ)けていこう。最初(さいしょ)は不安(ふあん)かもしれない。でも大丈夫(だいじょうぶ)。君(きみ)の前(まえ)には、君の話(はなし)をしっかり聴(き)こうとする仲間(なかま)がたくさんいるから。



全力でやりきる!!

仲間（なかま）とともに力（ちから）を合（あ）わせてがんばった運動会（うんどうかい）。そこには、みんなの笑顔（えがお）、真剣（しんけん）な顔（かお）があふれていた。うれしかったのも、くやしかったのも、君（きみ）が全力で取（と）り組（く）んでいたでしょうこ。
みんな、本当（ほんとう）によくがんばった!!



きんちょうを力に

ときどき、たくさんの人(ひと)に見(み)てもらう授業(じゅぎょう)や行事(ぎょうじ)がある。心(こころ)がドキドキ、きんちょうするかもしれない。思(おも)い通(とお)りに体(からだ)が動(うご)かなかったり、声(こえ)が出(で)なかつたりすることもあるかもしれない。だけど、君(きみ)のとなりには、これまでいっしょにがんばってきた友(とも)だちがいる。だから大丈夫(だいじょうぶ)。きんちょうを力(ちから)にかえて、いつも以上(いじょう)のよい姿(すがた)を見せよう。



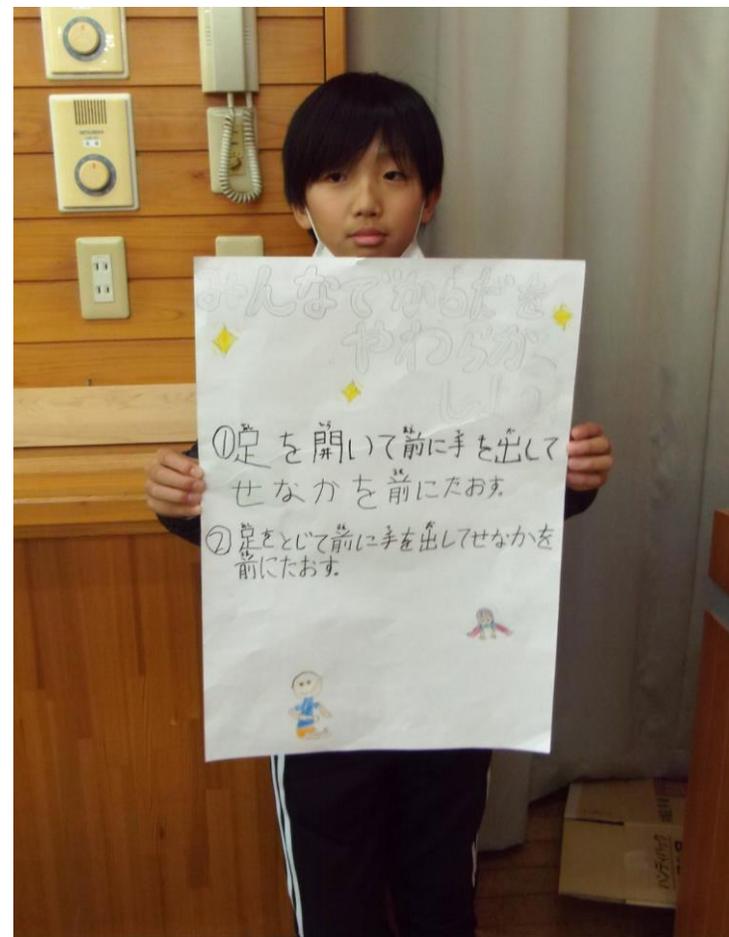
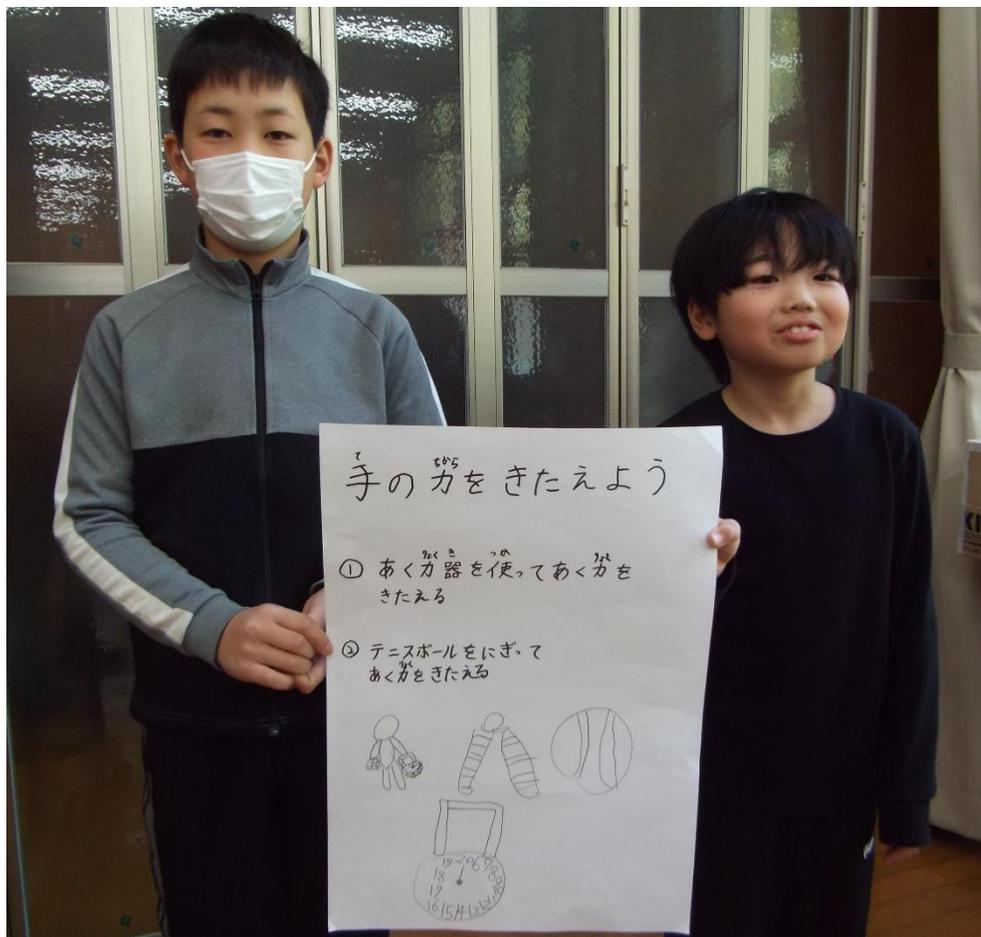
お米に感謝 地域に感謝

毎日(まいにち), おいしいご飯(はん)が食(た)べられるのは, ご飯を作(つく)ってくれる人(ひと)がいるからだけでなく, お米を作ってくれる方もいるから。食べものがわたしたちの体(からだ)の中(なか)に入(はい)るまでに, たくさんの方がかかわってくれていることを忘(わす)れてはいけない。食べものに感謝。地域の方々(かたがた)に感謝。



手のひらの力

君(きみ)たちの手のひらには、あたたかい力が宿(やど)っている。
下(した)の学年(がくねん)の子(こ)が辛い思(おも)いをしているとき、こんな手のひらの使い方(つかいかた)ができる上級生(じょうきゅうせい)であってほしい。



高学年の仕事力

全校(ぜんこう)のために、自分(じぶん)の休み時間(やすみじかん)を使(つか)えるのが高学年。そして人(ひと)のために時間(じかん)を使って仕事(しごと)をすると、今(いま)までにはなかった達成感(たっせいかん)が味(あじ)わえるにちがいない。



みんなて参加 みんなて楽しむ

自分(じぶん)たちのために開(ひら)いてくれた行事(ぎょうじ)には、みんなて参加する。
なぜならここは、みんなの大宮小学校(おおみやしょうがっこう)だから。
ほら、参加する側(がわ)も、開いた側も、みんなが笑顔(えがお)になるね。